

# YWVOB 会 会報 No.82

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

2022 年 12 月 10 日発行 <https://ywvob-hp.jpn.org>



## ～ 82 号の目次 ～

- |                           |       |                          |       |
|---------------------------|-------|--------------------------|-------|
| ・YWVOB 会長ご挨拶              | ・・・1  | ・2023 年度 OB 山行予定         | ・・・12 |
| ・2023 年度 OB 総会報告          | ・・・2  | ・第 65 回 OB 山行報告（大山）      | ・・・13 |
| ・2022 年度決算、2023 年度予算、監査報告 |       | ・第 66 回 OB 山行案内（高水山）     | ・・・15 |
| 役員一覧                      | ・・・5  | ・苗名小屋便り                  | ・・・16 |
| ・OB 会員近況報告                | ・・・8  | ・訃報                      | ・・・19 |
| ・2022 年第 4 回役員会報告         | ・・・10 | ・自由投稿「追悼 1 期 河野哲君・田上栄一君」 | 20    |
| ・観天望記（編集委員会から）            | ・・・11 | ・現役部員の活動紹介               | ・・・21 |

## ■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 西田雅典（20 期）

皆様、いつも OB 会活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

コロナは、秋に一旦落ち着きかけたものの、第 8 波が来ている感があります。3 年になろうとしているコロナ禍ですが、今後もまた姿を変えて感染症が続いてゆくリスクへの心構えをしておくのが妥当と思われます。

11 月上旬に感染対策をしながら、現役と OB が総勢 21 人集合し、岡田さんから材木を頂き小屋の資材に活用するなど、苗名小屋の小屋閉め作業を行いました。活動状況を共有したり、自己紹介したり、はたまた、竈（かまど）を囲みながら現役と OB が円陣を組んで山の歌を歌い、ミハルカスとエール（現役は初めての体験だったようですが）でいい時を過ごしました。また、2 年ぶりに陣馬山での OB 山行、シニアの歩こう会などを含めて、リアルの活動の機会が少しずつ復活してきました。

来年は、卯年。フランスでのラグビーワールドカップ、広島での G7 などが予定されていますが、回復・飛躍の年になるよう期待したいものです。ワングルは 67 年目を迎えますが、来年も OB 会としては、OB 会報、OB 山行、小屋行事、新 HP

（WordPress）活用、部史編纂活動、現役とのコミュニケーションを愉快地続けてゆきます。少しなら OB 会活動を手伝ってもいいかなと思われる方は、まずは、メルマガなどご覧になってお気軽に役員会に参加してみてください。

あとひと月足らずで 2022 年が終わりますが、皆様とご家族が健康で良いお年を迎えられようにお祈り申し上げます。



拙作 1978/9 高谷池ヒュッテ

## ■ 2023 年度OB総会報告

総務委員長 竹村 昇（13 期）

1) 日時：2022 年 10 月 22 日（土）14:00～16:00

2) 場所：Zoom によるオンライン会議

3) 出席者：31 名

・OB 会員：25 名…嘉納（1 期）、吉野（2 期）、郡司（4 期）、鈴木（9 期）、安藤（11 期）、榎本・山川（12 期）、竹村（13 期）、白須（17 期）、植草・堀内・山口（18 期）、磯尾（19 期）、西田・石垣・武藤・安武（20 期）、白木（21 期）、伊藤（23 期）、柏木（25 期）、楠本（28 期）、松本（29 期）、小野・親跡（34 期）、石川（41 期）

・オブザーバー 6 名 河端 YWV 部長先生、現役 中山（63 期）、山本・西川・佐藤・中村（64 期）

4) 総会の成立

・OB 会全 61 期（1 期～62 期、うち 45 期欠番）中、出席の期 18 期、委任状の期 14 期の合計 32 期により、定足数（21 期）を満たし、総会は成立した。

・委任状の期：5、6、7、8、14、15、22、26、27、28、31、37、46、61

5) 議事

・竹村委員長の開会宣言の後、白木幹事長（21 期）を議長に指名した。議長が柏木総務委員（25 期）を書記に指名して、議事を進めた。

◇会長挨拶（会長 西田雅典（20 期））

現在の状況では、集まっても懇親会は開催できないため、安全側に考えて今回も前回と同様にオンライン開催となった。忌憚なく議論願いたい。

◇部長挨拶（YWV 部長 河端昌也先生）

大学としても集まることが困難である。YWV 現役支援などに対して感謝する。

◇報告事項

1. 2022 年度（2021/10/1～2022/9/30）活動実績（会長 西田雅典（20 期））

・総会参加者数、OB 会員数、期別部員数の推移

・活動実績全般：2021/10/23 総会（オンライン会議）、OB 山行は 5 月に 2 年ぶりに実施、会報は予定通り発行、メルマガも簡素化・標準化、小屋アクセス道路工事、1～3 月の雪下ろし及び夏の小屋整備、ホームページは WordPress で更新し、コンテンツ・運用の検討推進、部史編纂は現役データの収集などを継続推進、現役との交流はコロナのため限定的、OB 会から現役へテント寄付

・総務委員会：メルマガは毎月発行、各委員長がホームページに原稿をアップロード、各種議事録の迅速な掲載が可能、名簿システムによるデータ更新

・OB 山行委員会：第 63 回コロナで中止、第 64 回 5/21 陣馬山（32 名）感染対策のため複数ルートで実施、第 65 回 10/15 大山（26 名）感染対策のため 2 ルート・5 班で実施

・OB 小屋委員会：雪下ろし、山菜取り、周辺散策、小屋整備など合計 14 回の行事を実施。小屋へのアクセス道路を整備し、業者による汲み取り作業を実施。

・編集委員会：79 号（12/4 発行）、80 号（4/16 発行）、81 号（9/10 発行）の合計 3 回会報を発行

・ホームページ委員会：WordPress 新規導入、内容は 3 区分で一般公開用（OB 会活動など）・会員用（OB 山行、小屋利用状況など）・役員用（議事録など）

・部史編纂委員会：歴史館充実（掲載情報のチェック、個人情報のマスキング）、OB 会内の利用方法の周知促進、現役との連絡が取れて山行記録を収録予定

・役員会：1/29、4/23、7/9、9/24 の合計 4 回開催

2. 2022 年度決算実績（会計幹事 松本和之（29 期））

・決算について報告した。小屋会計では、小屋までの道路整備、業者の汲み取りなど小屋整備に経費を要した。

3. 監査役報告（監査役 白須謙治（17 期））

会計基準に則って監査を行った結果、適正で問題がなかった旨を報告した。

#### 4. 会員入退会現況報告（総務委員長 竹村 昇(13 期)）

- ・ 2023 年 3 月卒業予定で 4 月入会の予定者：63 期中山竜熙、水内裕太、金 天瞳、島 生成
- ・ 2022 年 10 月報告の退会者（故人）：1 期田上栄一、1 期河野 哲、4 期斉藤貞夫

#### 5. 現在検討を進めている規程など（副会長 石垣秀敏（20 期））

- ・ 会則第 87 条～第 89 条に基づき、役員会で以下の規程の改定、制定を検討中（役員会規程、総務委員会規程、文書管理規程、OB 山行委員会規程、OB 小屋委員会規程、及び小屋利用・交通費補助関連の諸規程、ホームページ委員会規程、部史編纂委員会規程、会計規程）。役員会で決定後、ホームページにて会員に公開予定。
- ・ 規程ではないが、個人情報保護方針も役員会にて詳細を詰めて、決定する予定。

### ◇決議事項

#### 第一号議案

2023 年度活動計画案及び予算案承認の件（会長 西田雅典(20 期)、会計幹事 松本和之（29 期）、各委員長）

2023 年度（2022/10/1～2023/9/30）

- ・ ウイズコロナでの山行のあり方、小屋の課題（保守・運営、現役ニーズなど）、ホームページの活用と情宣活動、サーバ管理整理、現役支援、名簿管理再考、期別幹事の関係深化、新役員募集、OB 会業務の簡素化、OB 会予算・準備金の使い方の検討など
- ・ OB 山行委員会：66 回（1 月）、67 回（5 月）、68 回（10 月）
- ・ OB 小屋委員会：公式小屋行事開催（10 回）
- ・ 編集委員会：82 号～84 号発行、テーマは会員が「見たい、読みたい」と思う会報を目指して！
- ・ ホームページ委員会：ホームページの利用促進（継続）、一般公開用・会員用・役員用の活用など
- ・ 部史編纂委員会：歴史館充実、OB 会内での利用方法の周知促進、現役の山行記録の収録など
- ・ 役員会：開催予定日：①2023/1/7 ②4/22 ③7/8 ④9/23、ハイブリッドを基本形式として、状況に応じオンラインのみ、ウィズコロナでの役員会運営の活性化検討、期別幹事の体制整備、若手役員拡大、役員・新担当促進、現役支援など

活動計画案、予算案について満場一致で承認された。

#### 第二号議案

役員選任の件（議長 白木政隆(21 期)）

- ・ 退任、新任、再任する役員について説明があった。（次ページ「役員一覧」参照）
- ・ 次期役員案について満場一致で承認された。

### ◇現役活動報告（YVW 副主将 山本雄大（64 期））

- ・ 多数の新入生が入部した。
- ・ 主な山行は以下のとおり（実施時期は順不同）：鎌倉アルプス、高尾山、大山、筑波山、塔ノ岳、乾徳山、大山、大岳山、瑞牆山、尾瀬ヶ原・至仏山、赤岳、川苔山、富士山、北アルプス（雲ノ平など）、北岳、磐梯山、乗鞍岳、谷川岳、安達太良山など
- ・ その他、小屋活動・整備など

### ◇閉会

閉会を宣言した。（総務委員長 竹村 昇（13 期））

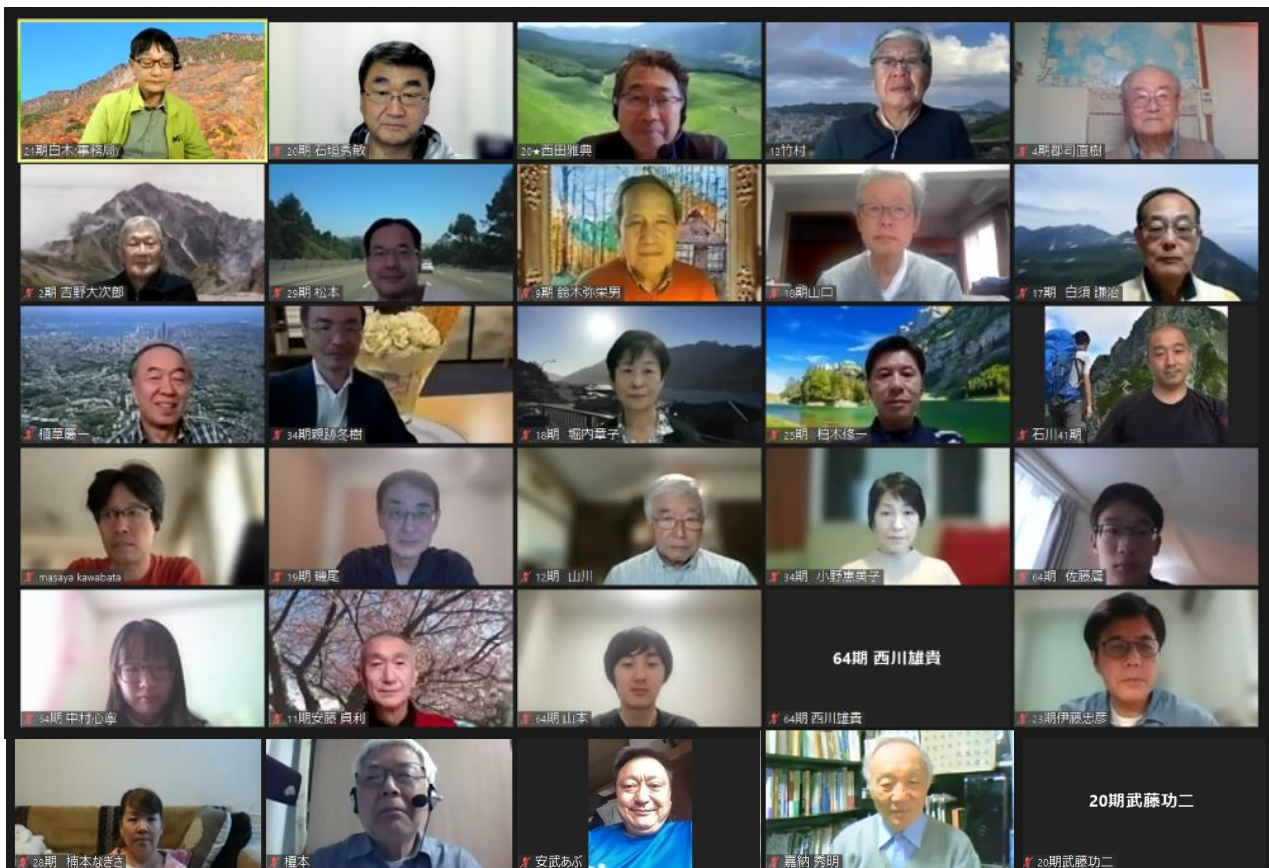
### ◇記念撮影、みはるかす動画の放映



【役員一覧 2022/10/22総会可決】

赤色は再任(決議)／青色是新担当(報告) ※兼務の任期満了は本務任期に合わせる

役職名	氏名	期	任期 満了年	役職名	氏名	期	任期 満了年
会長	西田 雅典	20	'23	OB小屋委員	諸角 壮弐	5	'23
副会長	石垣 秀敏	20	'23		菅谷 光雄	6	'23
幹事長	白木 政隆	21	'23		安藤 貞利	11	'25
副幹事長	石川 真	41	'23		小口 雄平	14	'23
会計幹事	(兼) 吉野 大次郎	2	'24		向井 良作	18	'23
	松本 和之	29	'24		石井 重雄	19	'24
顧問	嘉納 秀明	1	'24		笹倉 実	30	'23
	吉野 大次郎	2	'24		安本 健一	30	'23
	吉村 元孝	3	'23		田中 義人	34	'24
	鈴木 弥栄男	9	'24	(兼)	親跡 冬樹	34	'25
	山川 隆	12	'23		村山 浩樹	34	'23
総務委員長	竹村 昇	13	'25		田村 顕洋	34	'23
総務委員	(兼) 山川 隆	12	'23	(兼)	石川 真	41	'23
	(兼) 西田 雅典	20	'23		谷口 貴大	54	'25
	(兼) 武藤 功二	20	'25	編集委員長	(兼) 石垣 秀敏	20	'23
	(兼) 白木 政隆	21	'23	編集委員	(兼) 武藤 功二	20	'25
	(兼) 成島 和仁	22	'25		楠本 なぎさ	28	'25
	(兼) 吉田 豊	23	'23	ホームページ委員長	武藤 功二	20	'25
	早川 恭二	24	'23	ホームページ副委員長	吉田 豊	23	'23
	柏木 修一	25	'23	ホームページ委員	(兼) 嘉納 秀明	1	'24
	毛塚 梨花	26	'23		(兼) 竹村 昇	13	'24
	渡邊 隆史	36	'23		(兼) 石垣 秀敏	20	'23
OB山行委員長	山口 貢三	18	'23		(兼) 親跡 冬樹	34	'25
OB山行副委員長	磯尾 典男	19	'24	部史編集委員長	堀内 章子	18	'25
OB山行委員	小野 恵美子	34	'23	(兼)	嘉納 秀明	1	'24
	小浜 一好	17	'24	部史編集委員	(兼) 菅谷 光雄	6	'23
	親跡 冬樹	34	'25		村松 清一	13	'23
OB小屋委員長	榎本 吉夫	12	'25		山下 暁	17	'24
OB小屋副委員長	後藤 誠史	39	'23		安武 和俊	20	'25
OB小屋委員会担当	(兼) 松本 和之	29	'24		楠本 なぎさ	28	'25
OB小屋委員	郡司 直樹	4	'23		塩野 貴之	46	'23
総員数(除兼務)	45名			監査役	白須 謙治	17	'25



## 2022年度決算

### 2022年度一般会計収支計算書

(2021. 10. 1～2022. 9. 30)

	(予算)	(実績)
前期繰越	1,744,377	1,744,377

(収入)			
費目	予算	実績	差額
年会費	120,000	88,000	-32,000
前納会費	370,000	370,000	0
一般寄付金	40,000	79,500	39,500
小屋寄付金	60,000	96,500	36,500
山行参加費	30,000	15,200	-14,800
その他収入	0	23	23
計	620,000	649,223	29,223

(前納会費 373,333 370,000 )  
 (延人員 224名 222名 )  
 (当年度納入 37名 38名 )

(支出)			
費目	予算	実績	差額
会報作成・発行費	220,000	201,587	-18,413
小屋会計振替	150,000	150,000	0
役員会費用	40,000	2,740	-37,260
総務委員会費用	50,000	84,337	34,337
山行費用	30,000	0	-30,000
HP委員会費用	30,000	14,314	-15,686
部史編集委員会費用	40,000	15,714	-24,286
その他(予備費)	180,000	135,070	-44,930
計	740,000	603,762	-136,238
当期収支	-120,000	45,461	165,461

次期繰越	1,624,377	1,789,838	165,461
(繰越前納会費	1,186,666	1,196,666	)

### 2022年度〇B小屋会計収支計算書

(2021. 10. 1～2022. 9. 30)

前期繰越金(2021. 10. 1)	862,315
--------------------	---------

2022年度収支計算書	
収 入	
〇B会計より振替・小屋寄付金	150,000
小屋宿泊料金	50,000
預金口座利子	7
〇B小屋会計収入合計	200,007

支 出	
小屋地代	10,000
交通費補助	185,418
現役活動費補助	135,780
小屋整備・備品・燃料・消耗品等	612,065
振込手数料	495
〇B小屋会計支出合計	943,758

当期収支	-743,751
------	----------

次期繰越金(2022. 9. 30)	
預金	118,564

### 2022年度特別準備金収支計算書

(2021. 10. 1～2022. 9. 30)

前期繰越	4,625,036		
収 入		支 出	
預金利子	6		
計	6	計	0
		次期繰越	4,625,042

### 2022年度 主な支出

(2021. 10. 1～2022. 9. 30)

会計	費 目	内 容	金額
一般会計	現役活動補助 会報作成費	テント購入費用	130,710
		会報78号発送費 500部	41,008
		会報79号印刷費・発送費 400部	77,369
		会報80号印刷費・発送費 400部	42,850
小屋会計	整備	林道工事費用	451,000
		汲み取り費用	35,900
		交通費補助	185,418
		現役活動費補助	135,780



一般会計貸借対照表

資産		負債	2022. 9. 30
現金	0	次期繰越	1,789,838
振替口座	951,274	繰越前納会費	1,196,666
通常貯金	2,323,230	前受金	288,000
定額貯金	0		
計	3,274,504	計	3,274,504

<前受金内訳>

年会費	46,000
前納会費	180,000
一般寄付	5,000
小屋寄付	41,000
共通寄付	16,000
計	288,000

特別準備金貸借対照表

資産		負債	2022. 9. 30
通常貯金	625,042	特別準備金	4,625,042
定額貯金	4,000,000		
計	4,625,042	計	4,625,042

資産計(0B会) 2022. 9. 30

一般会計	3,274,504
小屋会計	118,564
計	3,393,068

資産計(0B会、現役共有)

	2022. 9. 30
特別準備金	4,625,042

2023年度予算

2023年度一般会計予算案

(2022. 10. 1～2023. 9. 30)

(22年度実績) (23年度予算)

前期繰越	1,744,377	1,789,838
------	-----------	-----------

(収入)

費目	22年度実績	23年度予算	差額
年会費	88,000	100,000	12,000
前納会費	370,000	376,667	6,667
一般寄付金	79,500	40,000	-39,500
小屋寄付金	96,500	60,000	-36,500
山行参加費	15,200	30,000	14,800
その他収入	23	0	-23
計	649,223	606,667	-42,556

(前納会費	370,000	376,667)
(延人員	222名	226名)
(当年度納入	38名	35名)

(支出)

費目	22年度実績	23年度予算	差額
会報作成・発行費	201,587	220,000	18,413
小屋会計振替	150,000	150,000	0
役員会費用	2,740	40,000	37,260
総務委員会費用	84,337	50,000	-34,337
山行費用	0	30,000	30,000
HP委員会費用	14,314	30,000	15,686
部史編集委員会費用	15,714	40,000	24,286
その他支出(予備費)	135,070	180,000	44,930
計	603,762	740,000	136,238
当期収支	45,461	-133,333	-178,794

次期繰越	1,789,838	1,656,505	-133,333
(繰越前納会費	1,196,666	1,116,666	)

\*2023年度年会費納入者は 50名、前納会費納入者を 35名としました。(2021年 55名 2022年 38名)

2023年度0B小屋会計予算案

(2022. 10. 1～2023. 9. 30)

前期繰越金(2022. 10. 1)	118,564
--------------------	---------

2023年度収支計算書

収入	
0B会計より振替・小屋寄付金	150,000
小屋宿泊料金	30,000
預金口座利子	0
0B小屋会計収入合計	180,000

当期収支	-1,000
------	--------

支出	
小屋地代	10,000
交通費補助	40,000
現役小屋活動費補助	40,000
小屋整備・備品・燃料・消耗品	90,000
振込手数料	1,000
0B小屋会計支出合計	181,000

次期繰越金(2023. 9. 30)	117,564
--------------------	---------


# 監査報告書

2022 年 10 月 16 日

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

会 長 西田 雅典 殿

監査役

白 須 謙 治 

2022 年度の決算書について、会則及び諸規程並びに一般に公正妥当と認められる会計基準に則り監査を行なったところ、適正に行なわれており問題はなかった。

また、今年度もコロナ禍が続いたが工夫した活動を行うことができていた。

## 【 2023 年度 役員一覧 】

役職名	氏名	期	任期 満了年	役職名	氏名	期	任期 満了年
会長	西田 雅典	20	'23	OB小屋委員	諸角 壮弐	5	'23
副会長	石垣 秀敏	20	'23		菅谷 光雄	6	'23
幹事長	白木 政隆	21	'23		安藤 貞利	11	'25
副幹事長	石川 真	41	'23		小口 雄平	14	'23
会計幹事 (兼)	吉野 大次郎	2	'24		向井 良作	18	'23
	松本 和之	29	'24		石井 重雄	19	'24
顧問	嘉納 秀明	1	'24		笹倉 実	30	'23
	吉野 大次郎	2	'24		安本 健一	30	'23
	吉村 元孝	3	'23		田中 義人	34	'24
	鈴木 弥栄男	9	'24		(兼) 親跡 冬樹	34	'25
	山川 隆	12	'23		村山 浩樹	34	'23
総務委員長 総務委員 (兼) (兼) (兼) (兼) (兼)	竹村 昇	13	'25		田村 顕洋	34	'23
	山川 隆	12	'23		(兼) 石川 真	41	'23
	西田 雅典	20	'23		谷口 貴大	54	'25
	武藤 功二	20	'25	編集委員長 (兼)	石垣 秀敏	20	'23
	白木 政隆	21	'23	編集委員 (兼)	武藤 功二	20	'25
	成島 和仁	22	'25		楠本 なぎさ	28	'25
	吉田 豊	23	'23	ホームページ委員長	武藤 功二	20	'25
	早川 恭二	24	'23	ホームページ副委員長	吉田 豊	23	'23
	柏木 修一	25	'23	ホームページ委員 (兼) (兼) (兼) (兼)	嘉納 秀明	1	'24
	毛塚 梨花	26	'23		竹村 昇	13	'24
	渡邊 隆史	36	'23		石垣 秀敏	20	'23
OB山行委員長	山口 貢三	18	'23		(兼) 親跡 冬樹	34	'25
OB山行副委員長	磯尾 典男	19	'24	部史編纂委員長 部史編纂委員 (兼) (兼)	堀内 章子	18	'25
OB山行委員	小野 恵美子	34	'23		嘉納 秀明	1	'24
	小浜 一好	17	'24		菅谷 光雄	6	'23
	親跡 冬樹	34	'25		村松 清一	13	'23
OB小屋委員長	榎本 吉夫	12	'25		山下 暁	17	'24
OB小屋副委員長	後藤 誠史	39	'23		安武 和俊	20	'25
OB小屋委員会計担当 (兼)	松本 和之	29	'24		(兼) 楠本 なぎさ	28	'25
OB小屋委員	郡司 直樹	4	'23		塩野 貴之	46	'23
総員数 (除兼務)	45名			監査役	白須 謙治	17	'25

## OB会員近況報告

総務委員長 竹村 昇（13期）

期	名 前	近 況 報 告
2	塚原伸一郎	85歳になりました。定年退職後に知り合った後輩たちとイタリアに行ってきます。
4	郡司直樹	第6回シニアOB歩こう会(10/20)に参加する予定です。
4	谷上俊三	特にありません。おかげさまで元気で過ごしています。
5	羽島継男	大宮の鉄道博物館でのボランティアガイド、埼玉県主催「いきがい大学」などおかげさまで元気です。
6	岡田美奈子	歩こう会、その他のグループで、低い山や公園などを、あちこち歩いています。
6	久野秀晴	野の仏を探しては全国を巡礼しています。「山と溪谷社」からも石仏に関する本もいくつか出版されています。ワングルとはあまり縁がないかもしれませんが面白いですよ。
8	早坂 宗	今年の山行は3月鍋割山、4月本社ガ丸、5月大柄山、6月八ヶ岳縦走、金精山、7月塩見岳・北岳縦走、8月奥穂高岳、10月苗場山、尾瀬笠ヶ岳(予定)です。
8	田中 稔	高山に登る元気はもうありませんが、YWOシニアの歩こう会で月1回外出するのが唯一の楽しみとなっております。
8	平沼 茂	総会に参加できませんが、議決権は議長に一任します。盛会を祈ります。
13	竹村 昇	最近、品川区のボランティアを始めました。「エコルとし」と言う環境学習施設で小学生の社会科見学のお手伝いです。 元気な小学生からエネルギーをもらっています。不定期なボランティアで、負担は少なく楽しんでいます。
13	太田繁信	ここ数年、山仲間と島の山旅（これまでに対馬、天草、小笠原に行きました）を行ってきましたが、今年は五島列島（と言っても訪れたのは福江島と中通島）に行き、山登りのほか観光を楽しみました。 また、自分自身では急ぐつもりはなかった「百名山登頂」ですが、OB会報（HP）の記事に刺激を受けて祖母山と伯耆大山に登り達成したのが、今年のハイライトかな。 そのほかにも個人や新ハイキングの仲間とあちこちの山を楽しんでいます。（今年は9月末で28回の登山）
14	鈴木道夫	地元の春日山城址（上杉謙信公の居城）で市役所観光職員として案内係をしています。早くも5年目です。里山の山野草やら野鳥なども説明していますよ。 カタクリの花言葉を「初恋」とおば様に話したら、「もう忘れたわ」と応じられて爆笑！！
17	蜷川欽也	山には行っておりませんが、会報で皆さまの活動を拝見して楽しんでおります。
17	梅野匡俊	今回は所用があり欠席させていただきます。 現在、新潟県立大学に勤務しており、月に2、3回新潟に出向いています。行き帰りの新幹線からは巻機山や越後三山、研究室からは飯豊を眺めています。



17	長谷川(穴山) 三津子	横浜市の小学校で図書館司書をしています。脊柱管狭窄症の手術をしてから3年経ち、腰の痛みはなくなりました。まだまだ山歩きまで道のりは遠いですが、辛抱強く体力作りに励んでいます。
17	渡邊雅子	大変久しぶりに山小屋へ行き、キノコ採りに参加しました。とても楽しかったと同時に山小屋を整備されてきた方々の努力を感じました。
18	植草慶一	OB山行を楽しみにしています。
18	山口貢三	会社は卒業し、ワングル仲間の有難さが沁みる日々です。お互いに楽しくやっていきましょう。
18	向井良作	67才、現役で週7日働いています。 週に2日は休みたいです。
19	笛木久栄	任意後見制度を利用した契約と母と私の遺言書の作成を公証役場で行いました。母は、7月に初めてショートステイを体験しました。
20	武藤 功二	65歳になりました。週4日勤務（＋よこはま TL01日）ですがまだまだ現役で頑張ります。また旧東海道歩きもようやく半分（27番目袋井宿）を通過しました。
20	石垣秀敏	2009年にOB会の役員となり、2011年から編集委員長を務めています。今では、副会長・編集委員長・ホームページ委員の三足のワラジを履いており、三足のワラジは重く、やや疲れが出ています。弱音は吐かず、もうひと踏ん張り頑張って、”楽しい”OB会を盛り上げていこうと思いますので、引き続き宜しくお願い致します。
20	西田雅典	50周年記念企画からOB会のお手伝いをしています。現役1年生は66期。5年すると70周年です。内容豊富で面白いOB会になっています。ぜひ役員会に奮ってご参加頂ければと存じます。私的には会社員卒業し、のんびりやっています。
21	白木政隆	昨今仕事がヒマになったこともあります。やたら山行が増えてます。OB山行や家内と二人で行っていた山行に加えて、元会社の仲間や最近知り合った会社以外の仲間、更に家内以外(孫含む)の親族との山行が加わったためです。ありがたいことです。
21	鳥井正志	大分県の別府に単身赴任6年目。山とゴルフと温泉の合間に仕事をしています。九州の山はほぼ登りつくしたので、そろそろ自宅に帰って、皆さんと遊びたいです。
23	伊藤忠彦	今年、息子二人が結婚しました。が、コロナ禍のため両家顔合わせはリモートで済ませ、挙式は来年の予定です。今どきですね。
27	遠藤勝哉	現在、ベトナム ホーチミンに駐在しております。
41	笠原正大	思わぬ病を得て教職を退き、以来、小さな出版事業を営みながら、療養半分、仕事半分といった体で暮らしております。生きていると色々なことが起きるものですね。

## ■ 2022 年 第 4 回役員会報告

幹事長 白木政隆（21 期）

2022 年 9 月 24 日(土)14 : 00 から、オンライン(方式 : Zoom)会議にて、2022 年第 4 回役員会が開催された。

【出席】嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、安藤(11)、山川(12)、榎本(12)、竹村(13)、小浜(17)、山口(18)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、武藤(20)、安武(20)、白木(21)、柏木(25)、楠本(28)、松本(29)、親跡(34)、石川(41)

< 現役 > 西川(64)、山本(64)、中村(64)、塩坂(65)、竹内(65)、田山(66)、斎藤(66) 計 28 人

### 【議事内容】

#### 1. 会長挨拶

- ・総会は HCD 開催日とタイミングが合わず、コロナ状況も踏まえ今回は完全オンラインで実施する。
- ・今回も総会に向けた内容確認や現役と協働する各種活動の議論を進めていきたい。

#### 2. 審議事項並びに現役報告事項

##### ①【幹事長】各委員会規程案について

- ・各委員会から提出され、事前配布した委員会規程案に問題がなければ、基本的に採用していきたい。→承認
- ・OB小屋委員会規程については、今後作成され次第、持ち回りで規程案の確認をする。→承認
- ・文書表現の統一化、会則の条文参照整合性等については、総会までに整備して総会で報告する。→承認

##### ②【総務委員会】2023 年度 OB 総会について

- ・昨年度とほぼ同じ内容で実施するが、今後はハイブリッドの総会ができるよう日程最終決定も調整していきたい。今回は会則改定の議案はないので決議事項は第一号議案と第二号議案のみとなる。→承認
- ・2023 年度 OB 会についての確認事項詳細（手順・役割分担等）について会長より説明。→承認
- ・現役報告については、現役が最もやりやすい方法（SNS 等）で実施できる内容にしていく。→承認

##### ③【会長】総会における今期活動総括と来期方針説明資料について

- ・活動総括は昨年度と同様の骨子（会員数推移、総括、各委員会活動報告等）で報告をする。
- ・来期方針は全般の計画や各委員会の活動計画に加えて、今後の収支シミュレーションを踏まえ、特に費用のかかる苗名小屋への対応や会報の発行頻度等、将来を見据えた OB 会活動の基本方針を考えていきたいとの説明を受ける。→承認
- ・役員会の日程は総会前に決める。また小屋雪下ろしの日程は現役に合わせて OB 会は計画化する。→承認
- ・OB 会で現役 ML を作成して、現役との連絡がスムーズになるように提案したい。→承認
- ・シニアの歩こう会についても（クローズドの設定で）ML を作成したい。→承認
- ・現在使用している ML の内容については次回の役員会で再度整理する。→承認

##### ④【OB 山行委員会】来期 OB 山行計画案について

- ・1/21 高水山（2 コース計画）、5/20 石老山、10/14 金峰山と国師岳、北奥千丈岳の 2 コースを計画する。→承認

##### ⑤【現役】活動報告

- ・参加していただいた現役の自己紹介（ワンゲルに入ったきっかけ、よかった山）を話していただく。
- ・来期の現役支援については、今後スノーシュー等の冬用グッズ等も含めて現役内で検討する。→継続審議
- ・現役支援について、現役から OB 会への使用状況報告をお願いしたい。簡単にできる情報共有方法を現役と今後一緒に検討していく。→継続審議

##### ⑥【会長】役員改選、担当変更の件

- ・木村部史編纂委員長と木村総務委員、堀内 OB 小屋委員（兼務）が退任する。部史編纂委員会の体制については、部史編纂委員会にて検討をしていく。→承認

##### ⑦【編集委員会】第 82 号の発行案について

- ・総会報告と会員報告が通常会報に追加される。原稿締 11/11、入稿 11/27、発送 12/10 を予定する。→承認

##### ⑧【HP 委員会】

- ・今後は特に会員ページを充実させていきたい。また WordPress への内容更新方法、使い方講習については山小

屋・OB山行含めて広めていきたい。→承認

⑨【会計幹事】今期決算報告と来期計画案について

- ・ほぼ計画通りの着地見込みとなる予定。収入は予算<実績で、支出は予算>実績となった。
- ・来期の計画は今期の実績並みで原案とするが、委員会で何かあれば事前連絡が欲しい。→承認

3. 報告事項（審議事項として扱うものにはコメント記載）

- ・【HP委員会】WordPressを構築しているHTML、CSS、PHPのプログラム言語について現役が希望すればOB会として勉強会をしたい。
- ・【OB小屋委員会】今後の小屋をどうしていきたいか、拡大OB小屋委員会を10/2に開催する。小屋会計はバキュームカーで汚水処理を実施するための道路補修等で繰越金を使用した。
- ・【部史編纂委員会】それぞれが気持ちよく仕事ができる委員会を今後も目指していきたい。

4. 次回開催予定 1月7日(土) 14:00~16:30（ハイブリッド会議を前提に実施予定）

## ■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣秀敏（20期）

「千葉県、出羽三山、石碑」と言えば何でしょうか。千葉県でウォーキングをしていると、「羽黒山、月山、湯殿山」と書かれた石碑がいたる所で見られます。遠い山形県の三山の石碑が何故あるのでしょうか。

ここ房総では昔から「出羽三山参り」が盛んであり、はるばる出羽までお参りをしたそうです。「西の伊勢参り、東の奥参り」と呼ばれ、伊勢神宮と並び江戸時代では有名な聖地で、現在でも屈指のパワースポットです。

私は5年前に月山に登りましたので、今年9月に残りの2つに出かけました。この三山は羽黒山が現在（現世の幸せを祈る山）、月山が過去（死後の安楽と往生を祈る山）、湯殿山が未来（生まれ変わりを祈る山）を表しているので、出羽三山参りの正式な順番は羽黒山・月山・湯殿山で、現在・過去・未来だそうです（昔の歌謡曲の歌詞みたい、と思ったのは私だけでしょうか）。この三山をお参りすることは「生まれ変わりの旅」だそうです、私も還暦を過ぎ出羽三山参りをして、生まれ変わりました（かな?）。現地に行くと、いたる所にこの「生まれ変わりの旅」が書いてありました。不謹慎ではありますが、古くからの「旅行キャンペーンのキャッチフレーズ」みたいなものなのでしょうか。

羽黒山入口の随神門から約2km、2,446段の石段を1時間掛けて登ると羽黒山の頂上に着きます。ここには、出羽三山の神様を一緒にお祀りしている「三神合祭殿（さんじんごうさいでん）」という出羽神社の社殿があります。ここだけお参りしても3つの神社を参拝したことになるそうです（お得ですね）。広々とした境内は荘厳で神秘的な雰囲気がかたよ、神域に入ったことが感じられます。

一方、湯殿山神社は、大鳥居がある入口の駐車場から山道をバスで本宮に行きます。ここから先も詳しくお話したいのですが、湯殿山神社は「語るなかれ」「聞くなかれ」と言われ厳しい戒律がありますので、残念ですがお話することができません（本当です）。でも、ちょっとだけお話しますと、参拝は土足厳禁で素足にならなければなりません。霊験あらたかな出羽三山にまだ訪れたことの無い方は、是非お参りしてみてください。



今回の観天望記は旅行ガイドのようになってしまいましたが、多くの方々のお陰をもちまして、本年もOB会報を無事3回発行することができました。ありがとうございました。まだコロナ禍は続いていますが、OB会員の皆様にとって来年も健やかな年でありますようお願い申し上げます。



## 2023 年山行予定

OB山行委員長 山口貢三（18 期）

2023 年のOB山行の予定をお知らせします。初めての方も奮ってご参加ください。

偵察山行の結果等で状況によってはコース、集合時間等変更する場合がありますので、本番山行前の会報、HP、メルマガを必ずご確認ください。

### 第 66 回OB山行

1 月 21 日（土） 高水山（たかみずさん 759m） 詳細は本会報の山行案内をご覧ください。

### 第 67 回OB山行

5 月 20 日（土） 石老山（せきろうさん 702m）

相模湖の対岸に見える石老山に登ります。

石老山から先は、温泉を目指す班と周回する班の二手に分かれます。

〔集 合〕 JR 相模湖駅 8：30 集合、バス乗車

〔コース〕 A：相模湖駅＝石老山入口バス停＝顕鏡寺＝融合平見晴台＝石老山＝大石神社＝やまなみ温泉＝藤野駅

標高差 登り 490m、下り 388m 歩行距離 8.5km 歩行時間 4 時間 ★★

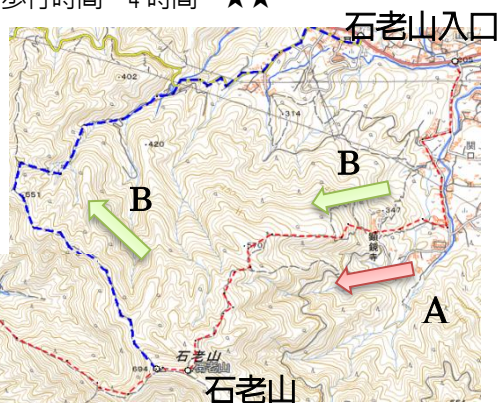
B：相模湖駅＝石老山入口バス停＝顕鏡寺＝融合平見晴台

＝石老山＝大明神山＝プレジャーフォレスト前

＝相模湖駅

標高差 登り 490m、下り 490m

歩行距離 7km 歩行時間 3 時間 35 分 ★☆



やまなみ温泉

（2023 年 4 月リニューアルオープン予定）

### 第 68 回OB山行

10 月 14 日（土） 金峰山（きんぶ 2599m）、国師ヶ岳（こくし 2592m）、北奥千丈岳（きたおくせんじょう 2601m）

バスで入れる大弛峠を起点に二つのコースを設定しました。なお北奥千丈岳は奥秩父最高峰です。

〔集 合〕 JR 塩山駅南口 8 時 45 分集合 バスに乗車予定。

〔行 程〕 A：大弛峠⇄朝日岳⇄金峰山

標高差 239m 歩行距離 8.0km 歩行時間 4 時間 30 分 体 ★★

B：大弛峠⇒国師ヶ岳⇒北奥千丈岳⇒大弛峠⇄（余裕がある人のみ）朝日岳

標高差 241m 歩行距離 6.9km 歩行時間 3 時間 30 分 体 ★☆



## ■ 第 65 回OB山行報告（大山）

OB山行委員長 山口貢三（18期）

【日 時】 2022 年 10 月 15 日（土）天気：曇り

【行き先】 大山（1252m）

【実 働】 秦野駅 ヤビツ峠行きバス停 8:40 発臨時便

Aコース（15名）

ヤビツ峠 9:40⇒11:05～11:20 大山 12:10～12:30⇒13:23～13:32 見晴台 13:40⇒15:10～15:30 日向薬師

Bコース（11名）

ヤビツ峠 9:45⇒11:30 大山 12:20⇒13:35 見晴台 13:50⇒14:30 阿夫利神社下社

（注）Aコースは各班の到着・出発時刻が異なっていたので、幅のある時刻を記載しました。

総勢 26 名で大山に登ってきました。秦野駅のバス停は登山客で大行列でしたが、臨時バスも出て予定より早くヤビツ峠に到着できました。

峠のバス停で恒例の挨拶をすませ班ごとに出発しました。登り初めは下界の市街地や海まで展望がありましたが、山頂に近づくにつれ見晴らしはゼロに。



そんな天気でも山頂は大賑わいなので、班ごとに場所を探して慌ただしく昼食をとりました。



この後は初代カメラマンの谷上さんが久々に登場し、皆を笑わせながら恒例の記念撮影が終わると下山にかかりました。



山頂からは下るにつれ雲を抜け、日が差すようになると暑さが戻ってきました。ブナやミズナラの巨木が残っていることに驚かされながら下り、見晴台に到着。ここでAコースとBコースに分かれて下山しました。

A1班：健脚の早坂さんがトップで、膝が笑う長い下りもサクサク歩いてコースタイム通りの15時10分にバス停に到着しました。日向川沿いは渓谷と田園風景が楽しめる長閑な道で、点在する寺社仏閣など散策だけでもゆっくり訪れたい場所でした。

A2班：登り快調でしたが少々ペースが速すぎたためか、下山の途中足をつってしまった人もいましたが、芍薬甘草湯を飲んで頑張ってもらい日向薬師バス停には予定のバス発車5分前には到着できました。

A3班：見晴台を出発し、40分ほどで林道に出ました。ここからは日向川沿いに歩きます。源頼朝や北条政子が参詣した日向薬師もあり、歴史ある土地柄を感じさせられます。3隊揃って同じバスに乗り、伊勢原駅に向かうことができました。

B1班：山頂付近はガスの中でしたが、下りの途中には遠く江の島が望めるくらい視界が広がりました。

最年長の嘉納さんは、初めての大山は70年前とのこと。今も足取りは軽く終始先頭を切り、下りのケーブルカーの長い行列待ちを見るや15期中島さんと歩いて下っていきました。残り3名はケーブルカーでしたが、こま参道でまた会うことに。その後、8期平沼さんは伊勢原で同期と打ち上げ、17期二人は参道途中の大山豆腐で乾杯しました。

B2班：18期21期の若者？で固めた班でしたが、常に最後尾でかつマイペース。見晴台から下り、杉の巨木（ご神木）や二重の滝のパワースポットに立ち寄りながら解散場所の大山阿夫利神社に到着しました。

元気のいい人たちは（私を除き）石段を更に上り神社にお詣りし、ケーブルカーは一本待って車両の先頭に陣取りご機嫌でした。

バスで伊勢原駅に着くと偶然Aコースの人と合流し、夜には早い伊勢原の街に入って行きました。

今回は一桁期の方々の活躍めざましく、そこにも元気をいただいた山行となりました。

#### 【参加者】

Aコース1班 (4期)谷上、(8期)早坂、川崎(友人)、(11期)安藤、(34期)小野(L)  
Aコース2班 (12期)山川、(13期)竹村、(19期)磯尾(L)、(20期)石垣、(25期)柏木  
Aコース3班 (14期)吉田、小口、(15期)小泉、(17期)渡邊、(34期)親跡(L)  
Bコース1班 (1期)嘉納、(8期)平沼、(15期)中島、(17期)小浜(L)、白須  
Bコース2班 (18期)植草、壺井、堀内、山口幸、山口(L)、(21期)村松





## ■ 第 66 回OB山行案内（高水山）

OB山行委員長 山口貢三（18 期）

青梅線を挟み御岳山の北側にある高水山は、さらに北上すると棒ノ折山に連なります。その山頂直下には常福院の不動堂があり、同じく山頂にある御岳山神社とは対照的に無人ですが、昔から信仰を集めているようです。

高水三山は駅から駅に至るコースが一般的ですが、高水二山をめぐる少し短いコースも設定しました。西に向かうA班と東に向かうB班は高水山に集結した後は、それぞれの下山地となる駅に向かいます。

初めての方も大歓迎です。皆さんの参加をお待ちしています。

【日 時】 2023 年 1 月 21 日（土）

【行き先】 高水山（759m）

【コース】

『A コース』体力度★★

（歩行 4 時間 総距離 約 9.4km 累積標高差 上り：約 1,021m 下り：約 1,023m）

集合場所 JR青梅線 軍畑駅（いくさばた） 10:00 集合

軍畑駅(10:00)・・・高源寺(10:30)[休憩 10 分]・・・常福院(11:35)[休憩 20 分]・・・高水山(12:00)[休憩 30 分]

・・・岩茸石山(13:10)[休憩 15 分]・・・惣岳山(14:05)[休憩 15 分]・・・御嶽駅(15:30)：解散

『B コース』体力度★☆☆

（歩行 2 時間 40 分 総距離 約 7.3km 累積標高差 上り：約 759m 下り：約 822m）

集合場所 JR青梅線 川合駅 9:00 集合 川合駅 9:36=西東京バス=9:41 八桑（やくわ）

八桑(10:00)・・・名坂峠(10:50)[休憩 20 分]・・・岩茸石山(11:20)[休憩 5 分]・・・高水山(12:00)[休憩 30 分]

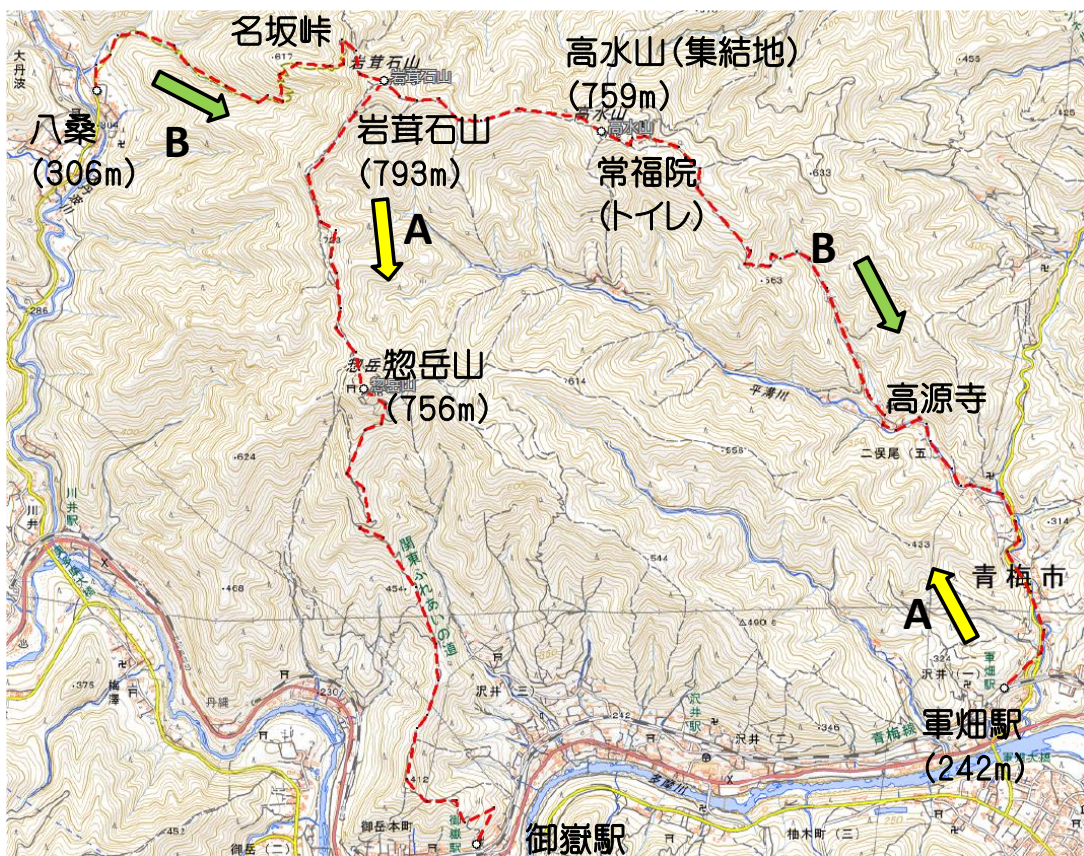
・・・常福院(12:35)[休憩 15 分]・・・高源寺(13:30)[休憩 10 分]・・・軍畑駅(14:00)：解散

【費 用】参加費 500 円（家族会員 100 円、小学生以下無料）交通費は各自負担をお願いします。

【持ち物】雨具、昼食等 日帰りハイキング用具

【申し込み方法】

1 月 14 日までに、[sanko-ywvob@ywvob.com](mailto:sanko-ywvob@ywvob.com) 宛てに希望のコースをメールでご連絡ください。





## ■ 苗名小屋便り

OB小屋委員長 榎本吉夫（12期）

安藤貞利（11期）

10月9日（日）、10日（月）に秋の行事としてキノコ狩りを実施。11期安藤、13期竹村、14期小口、17期渡邊、29期松本の5名が参加した。午後の曇り空の中、小屋の周りの落葉松林に潜り込んで、ハナイグチ(ジコボウ)を探した。今年は雨が多いせい、林床の枯れ枝、草の中から大きなジコボウが出ていた。かなり大きいものはナメクジにやられたようで、裏のヒダがなくなっていた。1時間ほどで随分収穫できた。これは夕食のキノコ鍋で堪能した。その後、造林小屋の入り口壁のはがれた部分をトタンで修理した。渡邊さんは、その日に小口さんが妙高駅まで送り、帰京。翌日は、またキノコ狩りを予定したが、天気が悪く中止して、バッテリーの交換を5台行った。



キノコ狩りの成果

竹村 昇（13期）

11月4日（金） 新幹線組（13期竹村、18期堀内、20期西田、石垣）は長野駅經由妙高高原駅まで列車を乗り換えて到着した。

直ちにレンタカーに乗り換え、18号線を下り、ニューミサ（上越市中郷区）に向かった。ニューミサは昼時を過ぎていたが混んでいて列に並ぶ。こ

このおすすめは味噌ラーメン、野菜ラーメンで、他に珍しいレインボー餃子を一皿注文した。高齢者にはちょっと量的にきつい、現役など若手には適当量と思う。食後、汲取りのお礼に頸南清掃社に立ち寄り、その後、買い出し、11期安藤さんをピックアップして和信建設を訪問し、道路整備のお礼をした。続いて、



紅葉の山小屋 1



紅葉の山小屋 2

17期の葛窪さん宅で油絵の鑑賞をしてから、山小屋入りした。この日は鍋料理だが、昼間のラーメンの影響で、炭水化物なし。夜半に現役組と現役を乗せた41期石川さんが小屋入りして、未成年を除いて乾杯！



全員集合で自己紹介 1



全員集合で自己紹介 2



11月5日朝に残りの1台の現役組が小屋入りして、現役は総勢13名（内4名は女子）となった。他に午前中に14期小口さん、29期松本さんが小屋入りした。OBは総勢8名となった。

この日は①杉野沢からの材木運び、②碎石を県道脇から運搬して井戸付近の道路整備（冬を越した後の整備用に、砂利は少し残してもらった）、③壊れた造林小屋の外壁補修、④冬支度用豆炭、灯油、ガソリンの買い出し、⑤食材調達、⑥雪囲い板の防腐剤塗布、⑥新品バッテリー5台の乗せ替え等の仕事を分担した。



朝食の支度

①の材木運び係は、岡田さんに地代を支払い後、岡田さんの古い家の床下に保管の材木をチェーンソーでカットして、2往復して材木を現役の借りたワゴン車で造林小屋に運んだ。岡田さんの古い家（現在の家の前）は11月10日から取り壊しになる予定。木の台や工事用の赤コーンなどいくつかもらってきた。大根や野菜もいただいた。

⑤の食材調達係は堀内さんがリーダーとなり石川車に現役女子3人が乗り組み、第一スーパーで買い出した。食べ盛りの現役13人を含む総勢21人分の食材を整えるため、14期小口さん作成の食材表を元に、5人で手分けしてスーパーの隅から隅まで走り回った。食材を乗せたカートの数に6台に及び、レジでは次々と値段が打ち込まれ、レシートの長さは68cm、総額は48,471円となった。このレシートの長さには、みんなびっくり！その後、いもり池のビジターセンターにちょっと寄って紅葉を楽しんだ後、小屋に帰着した。



食材買い出しの長い長いレシート



チェーンソー講習



チェーンソーの実践

日の入り前に薪割り、バーベキュー準備をして、全員でバーベキューを堪能した。勢いがついて円陣を組んで、みはるかすを合唱して飲み続けた。但し、今回は未成年が多いため、ジュース類も多く用意した。寒いので、ビールは売れ行きが今一で、日本酒、焼酎がメインであった。

この日の昼は又、29期松本さんから数回に渡って、チェーンソーの分解組み立ての講習会が開催され、多くの現役がチェーンソーを操作できるようになった。なお、⑥のバッテリー乗せ替えは予備用で、乗せ替えたが端子サイズが合わず、配線は出来なかった。小屋の電気関係は問題なく機能しており、部品を手配して来年5月の小屋明け時に配線を接続する事とした。



11月6日は、東京で所用のある西田さん、石垣さん、64期佐藤さんは松本さんの車で上越妙高駅まで送ってもらい帰京した。残りのメンバーは防腐剤を塗った雪囲い板を小屋周りにセットし、他にスノーダンプ、除雪用スコップの準備などを行った。なお、今回、屋根の保温材を撤去した。最後に水道配管の一部撤去とサクシオン部分の取り外しをして冬支度を完了した。8期の佐木さんに小屋に寄っていただいた。



BBQの焚火準備1



BBQの焚火準備2

石川車は現役4名を乗せて草津温泉経由帰京し、そのほかの現役は笹ヶ峰牧場を見学後、帰京した。OBの残りはいつも通り、杉野沢温泉でコーヒー牛乳を飲んで、帰宅の途に就いた。紅葉とリンゴの最盛期なので、途中、写真を撮って、即売所にてリンゴを購入した。

現役のエネルギーは目を見張るものがあり、雪下ろしなど今後頼もしい存在になると感じた。

#### 【 小屋閉め 現役の感想 】

##### 1. 今回の小屋閉めの感想

- ・初めて小屋にお邪魔しましたが、とても楽しかったです！ 現役とOB OGさんが入りまじってのんびり過ごせて良かったです。また行きたいです！
- ・バッテリー交換の方法やチェーンソーの扱い方等、様々なノウハウを教えていただき、大変有意義な体験でした。
- ・初めての小屋でしたが、とても楽しかったです。豆炭のこたつやチェーンソーで木を切ること、鉋での薪割り、様々な冬支度など普段の生活では体験できないことの盛りだくさんでした。電気、ガス、水道が通っていないことでの非日常感も好きでした。お世話になりました。ありがとうございました。次回も是非参加したいです！
- ・2日間でチャッチャカやりましたが、OBさんも現役も沢山いて楽しかったです。
- ・4度目の小屋ですが、楽しかったです。また、スキーに来ます。
- ・とても楽しかった。



こたつでの団欒1



こたつでの団欒2

## 2. 小屋について良いと思った点

- ・食料や食器、寝具が豊富だったところ、こたつがあってみんなで団欒できるところ。
- ・OBの方々と交流。美味しい料理。
- ・普段の生活で体験できないことを体験出来る。
- ・いいお酒が飲める。松本さんのおかげでチェーンソーについて詳しくなった。
- ・みんなで自然の中で過ごせること。OB OGさん方と交流できること。
- ・広い、雰囲気が良い。



薪割り

## 3. 小屋で改善した方が良かったと思った点

- ・庭の溝が夜だと見え難く、何回も足を滑らせたので明るくするか橋を太くするかして頂けると安心です。
- ・お皿洗いを減らすことの出来る工夫（1人ずつ自分の皿を作って2日使う、ラップを引く、など）。
- ・いろんな技術など習いましたが、聞くだけだと忘れてしまうこともありそうなので、書面などで残しておくといいかと思いました。
- ・小屋閉めに使う板が劣化して減ってきているので、予備を作るべきだと感じた。
- ・井戸水とは別に小屋来訪の際に多目的の水を、用意したら凍結の心配もないと思った。



防腐剤塗り

## ■ 訃報

編集委員長 石垣秀敏（20期）

- ・田上栄一氏（1期）が2022年9月21日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## ■ 自由投稿「追悼 1 期 河野哲君・田上栄一君」

嘉納秀明（1 期）

二人の友が相継いで亡くなった。

河野さんとは、高校が同窓であったが、彼は現役入学、私は一浪であったため、はじめの頃は、ちょっと遠慮がちな言葉遣いをしていた。しかし、その話には哲学的な深みがあり、どこからか、警句というか箴言というか、ちょっと心に残るようなことを見つけてきてはそれを披露して印象に残すのであった。「人は年間 1 トンを超える物を家に運び込む」、聞いた当時は、非常にびっくりした。ために今に至るまで覚えているのだが、定年生活になると、この句が当たり前の事実を言っていることがわかった。

河野さんがワングル活動をしていたのは、主には最初の 1 年間で、以後は、テニスに打ち込んでいたようであったが、4 年間在籍し、ずっと OB 会員であった。最後に会ったのは、2017 年のホームカミングデーの日、ワングルのコーナーにやってきた。この時は、腕の鍛え方を習った。喧嘩の仲裁に割って入ったときのように、両手を広げ、手先を垂直に立てる。手先の高さを保ったまま間隔を狭めてゆく。これは結構キツイ。指導し終わると、彼はどこかに行ってしまった。晩年は信州の別荘で暮らし、一期最後の会にも来なかった。

田上さんは、2 年から 3 年まで、主将を務めていた。おしゃべりや演説口調の人が多い、1 期部員の中で、一人寡黙な人であり、皆に「渋い」と言われていた。

怖い顔で黙っているのではなく、ニコニコしながら、ときどきボソとなにかいうのであった。山男で、高校でも山に登っていたようである。在学中、山らしい山に登ったのはすべて田上さんと一緒だった。中でも 2 年の終わりの 3 月に松本さんと 3 人で、40 キロの荷を背負い、増富温泉から、奥秩父縦走路に入り、富士見小屋で一泊、翌日は金峰山、朝日岳を通り、大弛小屋まで、ほとんど 12 時間かけて歩いた。次は猛吹雪の中を休みなしで、甲武信小屋まで 10 時間以上歩いた。この時にカメラを持参しなかったのが、我々の勇姿を伝える映像はない。



河野と田上 1958 年夏  
アルプス表銀座にて



至仏山山頂にて 1960 年 4 月 3 日  
左より、斎藤大(3)、渡辺享(3)、望月(1)、嘉納(1)、吉野(2)、田上(1)



しかし、この山行が、私の中核に残り続けている。その同行の二人に先立たれてしまった。田上さんとの思い出として3年生の3月に尾瀬の至仏山にスキー登山に出かけたときの写真がある。このころは、まだ積雪期の登山に出る人は少なく、このときも尾瀬に入ったのは我々の隊だけであり、山ノ鼻の主人から、「諸君ら、ベテラン」と呼ばれて、誇らしい気分になっていた。

卒業以後、田上さんと山行をともにしたことはない。私は関西に17年おり、関西支部の人とあちこち登っていたが、その頃彼は東京にいて、私が関東に戻ると、彼は神戸に居を移したからである。田上さんは関西支部の人とあちこち行っていたようである。2003年の夏頃、大阪に引っ越していた松本さんが入院し、意識混濁して重篤になっていると彼から電話がかかって来たので、大阪の病院に駆けつけたが、私達に気がついていないような状態であった。このとき、田上さんが、非常に気遣いをして親身に世話をしていたのを知った。松本さんは、「俺は良い友達を持った」と言って亡くなったが、田上さんの事を言っていたのであろうと思う。

最後の1期の会で田上さんに会った時、いつか神戸を訪ねて一緒に六甲山に登りたいと言っていたが、実現は出来ずに終わってしまった。

お二人のご冥福をお祈りします。

若き日に友と挑みし 厳冬の秩父の峰は 心に消えず

## ■ 現役部員の活動紹介

副主将 山本雄大（64期）

64期副主将の山本です。前回は急遽お休みをいただいてしまいすみませんでした。3～10月に行った公式活動は以下のとおりです。

- 3月 部室清掃、屋久島
- 4月 新歓（鎌倉アルプス、女子会、高尾山、大山）
- 5月 筑波山、塔ノ岳&鍋割山
- 6月 乾徳山、小屋活動、大岳山
- 7月 瑞牆山&キャンプ、尾瀬ヶ原
- 8月 赤岳、富士山、川苔山、雲ノ平
- 9月 赤岳、本栖湖、四国合宿、北岳、磐梯山、乗鞍岳
- 10月 谷川岳、安達太良山、苗場山、ふもとっぱらキャンプ

ご覧の通り今年度は公式活動の数が非常に多く、各活動の詳細はInstagram及びTwitterに記載しておりますので、ここでは掻い摘んで報告させていただきます。

まず、春休みに4回にわたる部室の大掃除を行いました。床に散乱していたテントを洗ったり、備品の在庫数を確認したり、用途不明の三段ベッドや冷蔵庫、タンスなどの粗大ゴミを処分しました。その過程でタンスの中にしまわれていた過去に滑落事故で亡くなられた部員の遺品を発見し、無事にご遺族の元へお返しすることができました。また、残りの春休みの期間を使って屋久島で合宿を行いました。参加したのは幹部だけでしたが、少人数だからこそ絆が深まり良い合宿になったと思います。サイクリングしながら見た屋久島の空と海の青さは一生忘れません。（写真1,2）



写真 1



写真 2

4 月是新歓活動に注力しました。今年度から YW 公式 Instagram を設立し、Twitter と並行しながら主にオンラインで勧誘を行っていました。特に鎌倉アルプスと大山では 20 人以上の新入生が参加し非常に盛り上がりしました。最終的に 33 人の新人を獲得することに成功したため、総部員数が近年では最多の 56 人になりました。また、女子部員でサッカーチームを立ち上げられるようになりました。去年はバスケットチームしか立ち上げられなかったのが大きな進歩です。女子部員は活動への参加率が高いので、よほど新歓をサボらない限りは今後も安定した数の女子部員が望めそうです。(写真 3, 4)



写真 3



写真 4

夏休みに入るまでに 4 回の日帰り山行と 2 回の宿泊を伴う山行を行いました。どの回もたくさんの部員が参加してくれました。64 期は優秀なドライバーに恵まれていたので、現地までの移動に車を利用することが多かったです。

車で移動すると交通費が安くなる、より多くの荷物を運べるようになる、移動の小回りが利くなどメリットだらけです。特に瑞牆山でのキャンプ&登山は車なしでは成立しませんでした。後輩たちには車移動の重要性を認識し、今後も継続していってもらえたらと思います。(写真 5, 6, 7, 8)



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



夏休みには9回の合宿を実施しました。部員の多様なニーズに応えるために、雲ノ平のような本格的な縦走から磐梯山のような温泉旅行&登山や四国でキャニオニング・SUP（サップ）をするなど幅広く企画しました。



写真 9



写真 10

しかし、実際は第7波の流行により8月上旬の活動を延期することになり、その皺寄せで8月後半～9月の活動が過密になったため部の運営がとても大変でした。さらに今年の夏はずっと天気が悪く、終始天気予報に振り回されていました。精神的にかなりきつかった夏でしたが、撤退はあったものの全ての合宿を予定通り開催し、結果として1人の感染者も出さずに全行程を終えることができました。また、大学の許可を得て公式に活動できたことは大きな成果であると思います。改めてテントを支援していただいたOB・OGの皆様には深く感謝いたします。（写真9, 10, 11, 12）



写真 11



写真 12

10月は3回の山行とキャンプを1回行いました。夏休みまでとは打って変わり少数で活動することが多くなったと感じます。山の季節は冬に近づいており、通常の山行はそろそろ厳しそうです。YWVの秋以降の活動については永遠の課題です。少しずつ活動の幅を広げていくことが重要であると考えます。ちなみに私はカヌーがやりたいです。（写真13, 14, 15）



写真 13



写真 14



写真 15

総括すると、依然としてコロナ禍による制約は続くものの、それと上手く付き合いながら部として活動の幅・頻度の両面で圧倒的成長を遂げることができました。今後の活動として、11月に小屋閉め、12月に武甲山ナイトハイクと追いコンを行う予定です。また、部室にある歴史資料についてOB会と話し合いながら部室の整備を進められればと思います。OB・OGの皆様には引き続き現役の活動を温かく見守っていただけると幸いです。

最後になりますが、YWV 公式 Instagram のフォローよろしくお願いします。



2018 年 10 月 日帰りPW箱根  
明神ヶ岳山頂 全員集合  
YWV 歴史資料館より

皆様からの投稿をお待ちしています。自由投稿の原稿、写真、スケッチ等を編集委員会にお送り下さい。メールアドレス [kaiho-ywvob@ywvob.com](mailto:kaiho-ywvob@ywvob.com)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

### YWOB 会 会報第 82 号

発 行 行 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会  
 発 行 日 : 2022 年 12 月 10 日  
 発 行 責 任 者 : 会 長 西田 雅典(20)  
 編 集 責 任 者 : 編 集 委 員 長 石垣 秀敏(20)  
 編 集 集 : 編 集 委 員 武藤 功二(20)  
           編 集 委 員 楠本なぎさ(28)  
           顧 問 吉野大次郎( 2)  
 印 刷 所 : 株式会社プリントバック 京都府向日市森本町野田 3-1